

都市計画論

担当教員： 岡辺 重雄

履修年次・区分： 2年（専門－基幹－必修）

【二級・木造建築士：選択】

授業のテーマ： 「都市」と「計画」の意味と役割を始め、都市計画の体系についての基礎的な理解を得る。まず、都市全体を対象とした性格付け（類型）を理解するとともに、総合計画・マスタープランを理解する。さらに都市計画の主な対象である都市の土地利用、都市施設、市街地開発と、派生的な重要領域である景観やまちづくり等の内容について、今日おかれている課題と解決の方向性を都市計画技術とともに理解する。

この日の授業内容： 交通と道路



今回の授業内容は道路と交通、2年の4学期に開講されている都市基盤施設論の前振りであり、一般常識を学ぶものです。予習で、身近な交差点の形状や信号現示を調べてきました。

道路の交通量の実態を年に一度調査するのが交通センサスです。混雑度が基準値を超えると道路管理事業者が改善を図るそうですが「福山市内を走る国道486の混雑度は基準値を超えています。車線を増設する必要があることが分かります。」道路って、そんなふうに管理されているんですね。

(2014年7月取材)